

米国経済の力ギとなる企業の設備投資

2014年に向けてさらなる経済成長が期待される米国。好調な住宅需要や底堅い消費活動に加え、足元では企業の設備投資に対する意欲も高まってきています。その背景には、米国景気に対する不透明感が薄れてきたこと、米国企業が多額の現金を保有していること、老朽化が進んだ設備の更新時期に来ていることなどがあります。

基本的に自社工場を持たず、中国などにある外部工場に生産を委託しているアップル社も、アリゾナ州に部品工場の新設を発表。自動車など他の製造業でも「米国回帰」の動きが目立っており、工場などの建設需要を含めて大きな雇用が創出されると期待されています。

また、シェール革命に伴い、エネルギー関連企業による工場建設など、新たな設備投資の動きも出始めています。米石油大手シェブロンは、2013年通年の設備投資額が予定を約10%上回るとの見通しを示しました。さらに、エネルギーコストの低下を受けて、日本を含む海外のエネルギー関連企業も米国への投資を増加させています。

こうした企業による設備投資の高まりは、雇用の創出を通じて個人消費の増加にもつながり、米国経済の成長をさらに加速させると期待されます。

米国の企業設備投資事例

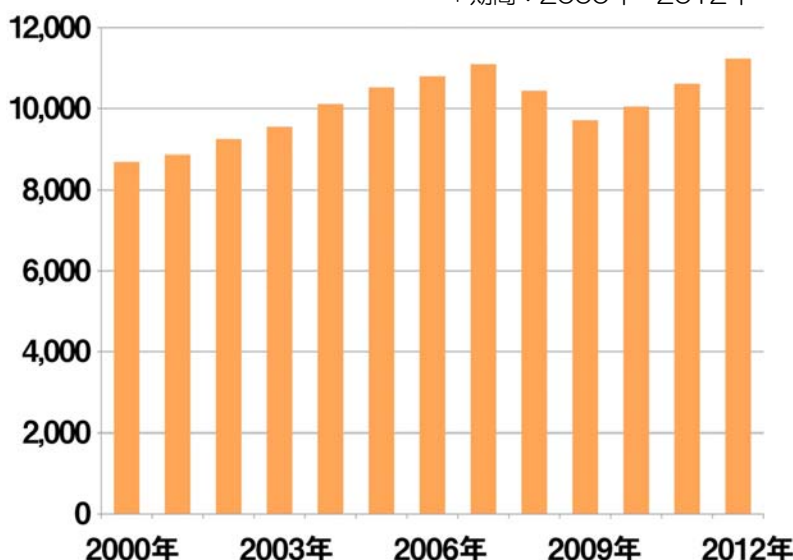
企業名(国名)	発表月年	概要
エクソンモービル(米国)	2011年12月	テキサス州に世界最大級のエチレン工場を新設。
クラレ(日本)	2012年6月	米国にボパール樹脂工場を新設すると発表。2014年9月完工予定。
信越化学(日本)	2013年6月	住宅建材などに使う塩化ビニール樹脂の米国における生産能力増強を決定。
ボーイング(米国)	2013年8月	サウスカロライナ州に787の新工場棟を建設し、供給能力の向上を目指す。
ダウ・ケミカル(米国)	2013年10月	ルイジアナ州に新工場の建設を開始。2016年頃より稼働予定。
アップル(米国)	2013年11月	アリゾナ州に新工場設立。2014年頃より稼働予定。

(出所) 各社リリース等を参考にGSAM作成

米国の設備投資額(消費耐久財)の推移

(単位: 億米ドル)

* 期間: 2000年~2012年



(出所) 米商務省 BEA

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他のいかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。

<審査番号: 115647.OTHER.MED.OTU> © 2013 Goldman Sachs. All rights reserved.